

# 結 *yui*

人と人をむすぶ  
丹嶺的時間





## 開設40周年に寄せて

理事長 学院長  
大河原 量



北摂キャンパス丹嶺学苑研修センターの開設40周年おめでとうございます。

丹嶺学苑研修センターは、1981年10月12日に開設されました。セミナーハウスの建設は、武庫川学院多年の懸案であり、校祖公江先生、日下前学院長の思い入れも一入のものがありません。「丹嶺学苑」の愛称も、日下前学院長が、校祖公江先生の雅号のひとつである「丹嶺」にちなんで命名されました。

都塵を離れた静かな環境で、師弟が寝食をともにして、相互のコミュニケーションを密にし、親和を図り、立学の精神の実を上げるため、早期に実現させたいと考えられていました。丹嶺学苑研修センターの設計に当たっては、楽しく研修の実があげられるよう細心の配慮が払われ、皆さんご承知のように、外観は普通の学校校舎とは全く違った趣で、内装も木を多く使用するなど、平常学習する教室とは違った雰囲気を持つものとなったのであります。

丹嶺学苑研修センターは開設以来、教育環境の変化や利用者のニーズに合わせて施設設備の充実を図ってきました。特に2015年12月に着工したリニューアル工事は、施設の主な目的を研修に特化し、快適な環境の中で研修に集中できるように、また研修の合間にリフレッシュできる空間づくりの整備をすすめ、2016年4月にリニューアルオープンすることができました。リニューアルによって利用者の皆さんが施設設備をフル活用し、研修内容も創意工夫をされて、従来以上に充実した時間を過ごされていることはもちろんのこと、丹嶺学苑研修センターに対して多くの点にお

いて満足度の向上に繋がったことは本当に喜ばしい限りです。

館内以外に丹嶺学苑研修センターの魅力の1つに整備された庭園があります。昨年の3月には丹嶺学苑研修センター開設40周年の記念にヤマボウシの木を正面ゲート付近に植樹しました。30周年記念に植樹した枝垂桜をはじめ、たくさんの樹木や草花が四季を通じて利用される皆さんを迎えてくれます。

早いもので開設から40年が経過し、各種研修やクラブ活動等での利用者も約28万5千人を越えたと聞いております。この2年間は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、多くの研修等がキャンセルになり、丹嶺学苑研修センターを訪れる利用者も激減した年でもありました。いままでの道のりは必ずしも平坦ではなく、関係教職員に多大なご苦労をおかけしたことを思い出します。様々な困難を乗り越え、お陰様で一定の評価がいただける施設に成長したことを喜んでいく次第であります。丹嶺学苑歴代館長・職員のご努力と関係教職員及び学生・生徒の熱意に対し心から敬意を表します。

これを機に初心に返り、アフターコロナの時代を見据えて新たな活用方法の開発など検討され、つぎの50周年に向けて一段の発展を期待しております。



## 開設40周年を迎えて

館長  
宗光 猛



丹嶺学苑研修センターは1981年10月、緑豊かな自然に囲まれた北摂の地に開設され、本年度、開設40周年を迎えました。

学院関係者の皆さまのご指導・ご協力、そして利用者の皆さまが施設を大切に、丁寧にご利用いただいたお陰と心より感謝いたします。

丹嶺学苑研修センターは趣のあるスパニッシュ調の外観、内装も木をふんだんに使用、北欧家具を要所に配置した宿泊研修施設で、開設以来、延べ28万5千名の皆さまにご利用いただいております。

年次を追って施設・設備等の充実が図られ、特に2015年12月から翌年3月にかけて「より快適な環境の中で研修が実施できる」をコンセプトに大規模な改修工事が行われました。

講堂、セミナー室の机・椅子はアクティブラーニングに対応できるよう、レイアウト変更のしやすいものに変更、教職員宿泊室はバス・トイレ付のホテル仕様のゲストルームに、学生宿泊室は貴重品ロッカーを完備、フロアごとにテーマカラーを定めて雰囲気も一新しました。

従来の多目的な施設から研修に特化した施設として、2016年4月にリニューアルし、学生・生徒・園児・教職員の皆さまの利用を再開しました。

リニューアルによって利用者の皆さまの施設設備に関する満足度が格段に向上しました。また、食事に関しても2019年4月提供業者の変更に伴い厨房を改修、機器を整備することで従来のお弁当形式から温かい食事を提供するセルフサービス方式に変更しました。これにより丹嶺学苑研修セン

ターの長年の課題であった食事が改善され、満足度も向上、利用者の皆さまに「また利用してみたい」と思っていただけの施設にさらに近づくことができました。

また事務室に関しては開設当初の施設管理、宿泊管理支援から研修活動指導のニーズに対応するため、1990年度に現在の研修指導課と改組、2012年度には施設名称を丹嶺学苑から丹嶺学苑研修センターに改称しました。

研修内容も2016年度から大学トレーニング・プログラムが丹嶺学苑研修センター主導から学科主導に変更され、2019年度はトレーニング・プログラムが初期演習と特別学期全学プログラム、アドバンスト・プログラムが特別学期学科プログラムに位置づけられ、従来以上に各学科の特色を生かしたプログラムが提供されるようになりました。

このようにハード・ソフト面の整備・充実をはかり、日常と異なる環境の中で利用者の皆さまが施設設備をフルに活用いただき、有意義な時間を丹嶺学苑研修センターで過ごしていただけるようになりました。

学生生活の想い出の1つに、丹嶺学苑研修センターでの研修を挙げていただくことがあります。2020年4月以降は新型コロナウイルス感染症拡大防止等により、研修が中止となった学年・学科もあり、とても残念でしたがコロナ収束後は多くの皆さまにご利用いただける施設、想い出の1ページを飾ることができるよう施設を目指し、職員一同さらなる発展・充実に向けて取り組んで参ります。





自然に囲まれた非日常の環境で



時間と空間を共有しながら



語りあい 深めあう



## 丹嶺だけの物語



授 業 × 研 修 × クラブ × 委員会 × ゼ ミ × 遠 足



## 竣工 1981年

H2 S61 S60 S57 S56

H2 庶務課から研修指導課へ  
S61 フレッシュエアーテント・野外炊事場竣工  
S60 高1研修開始  
S57 初期演習2泊3日、3(4)年研修1泊2日で開始  
S56 10月12日竣工

## 10周年 1991年

幼稚園の園外保育開始

指導員による提供プログラム  
8種類開始

阪神淡路大震災で  
2・3月の研修中止

ディスクゴルフコース建設

外周に警戒監視装置設置

初期演習がトレーニング・プログラムへ、  
3(4)年研修がシニア・プログラムに名称変更

## 20周年 2001年

H20 H17 H14 H13

H20 高校SSH(スーパーサイエンスハイスクール)丹嶺学苑合宿開始  
H17 トレーニング・シニアプログラムに  
看護師同行開始  
H14 丹嶺学苑主催  
学生イベント開催  
H13 指導員による提供プログラム  
20種類へ





## 40周年 2021年

## 30周年 2011年

R4

トレーニング・プログラムは全学科日帰りで実施予定  
アドバンスト・プログラムは希望学科のみ実施予定

R3

新型コロナウイルス感染防止のため  
トレーニング・アドバンスト・プログラムは  
希望学科のみ日帰りで実施  
丹嶺主催学生イベント 11年ぶりに開催

R2

新型コロナウイルス感染防止のため  
宿泊研修がすべて中止

R1

食事提供を、弁当から  
ビュッフェ形式へ

H28

全館改装工事 リニューアルオープン  
トレーニング・プログラムが  
指導員主導から学科主導へ

H25

トレーニング・プログラムが  
2泊から1泊に変更  
全学科統一の基準プログラムへ

H23

丹嶺学苑研修センターに名称変更





豊かな学びの場



武庫川女子大学附属幼稚園  
園長 金光 文代

丹嶺学苑研修センターが、創立40周年を迎えられましたことを心よりお慶び申し上げます。

附属幼稚園は、丹嶺学苑研修センターが開設以来、四季を通じてカエルとりや焼き芋大会など、豊かな自然の中でいろいろな体験をさせていただいてまいりました。特に、平成19年度より5歳児が宿泊保育、4歳児親子が施設見学をさせていただき、園内だけではできないたくさんの方の学びの機会となっています。

令和2年度・3年度は、新型コロナウイルス感染症感染対策のため、子ども達は園内外の生活の制約がたくさんありました。そのようななかで、丹嶺学苑研修センターでの宿泊保育と施設見学は残念ながら中止となりましたが、代わるものとして秋の園外保育を受け入れていただきました。

丹嶺学苑研修センターに着くなり、子ども達の目にとまったのは、紅葉した秋の豊かな自然でした。「黄色いイチョウ、きれいだね」「ドングリ、みつけた」「赤い柿の葉っぱ、みつけた」等、一つずつの発見を大喜びで友達と伝え合っていました。遊歩道を



登った坂の上では、思わず「ヤッホー」と口々に言いだしました。

心地よい秋っぱいの中で、子ども達の心が動いているのを感じました。また、蜘蛛の巣にひっかかった色付いた葉っぱを見つけた時には、「大変だ。赤い葉っぱが蜘蛛の巣にひっかかっている」



「葉っぱさん、くるくる回っているよ」と「びたいのかな」と大騒ぎになり、じっと見入っていました。太陽の光や風、秋の空気の香りなどを身体いっぱい感じている子ども達でした。

幼稚園教育は、環境を通して行うことが基本とされていますが、自然の変化を身近に感じることができる丹嶺学苑研修センターは、子ども達にとって素晴らしい環境であり、時間が過ぎるのも忘れるほど、たくさんの方の発見ができる貴重な施設です。情報化、国際化社会へと、目まぐるしく動きつつある今日、子ども達が心豊かに体験できる機会をもつことができますことに感謝しております。

今後も、丹嶺学苑研修センターにおかれましては、ますます充実し、発展されますようお祈りいたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

6年連続の全国大会入賞を支える  
「丹嶺ゼミ合宿」



武庫川女子大学  
文学部 英語文化学科  
学科長 清水 利宏  
(英語スピーチ・プレゼンテーション研究室)

丹嶺学苑研修センター設立40周年にあたり、心からのお慶びと感謝を申し上げます。私が初めて丹嶺学苑研修センターを訪れたのは、本学に着任した2016年の春、MUSC留学から帰国した学生を「丹嶺ゼミ合宿」に引率した時でした。緑豊かで広大な敷地に整備された研修棟やレクリエーション施設など、その恵まれた環境に感銘を受けたことを覚えています。研修室はフリーレイアウトで利便性が高く、プロジェクタも明るく壁一面に映写できることから、私が専門とする英語スピーチやプレゼンの練習には最適だと感じました。また丹嶺学苑研修センターなら宿泊を伴った余裕のある研修計画のもと、野外クッキングなどの親睦活動を組み込むことも容易です。「丹嶺ゼミ合宿」をすれば結果が出せる」と

の直感から実施を即決し、ゼミの企画メンバー主導で同年9月13・14日に「丹嶺ゼミ合宿」を初めて開催しました。以来、コロナ禍を除く毎年9月のゼミ合宿が恒例行事となっています。

丹嶺ゼミ合宿の魅力は、ゼミ生それぞれが持つ個性的な一面を発見できることです。誤解されることが多いのですが、英語スピーチの指導は単なるスキル教育ではありません。指導者は、話者となる学生の価値観や生活習慣を深く知り、その話者に最適なテーマや訴求方法を助言する、人間的かつ学際的な教育力が求められます。その教育には、学生と教員が膝を突き合わせ、信頼関係を

構築しつつ、時間をかけて対話を重ねるプロセスが必要です。学術的な議論から、冗談を交えた気軽な会話まで、そのすべてにスピーチ指導のヒントが隠されているからです。その意味において、「同じ釜の飯を食う」という言葉の通り、研修から食事、休憩時間、野外活動に至るまで、学生と教員が質的・量的の両面で豊かな共有体験を得られる丹嶺ゼミ合宿は極めて貴重です。お蔭さまで、私が本学に着任した2016年に初めて丹嶺ゼミ合宿を実施して以来、本研究室の学生は6年度連続で全国大会での上位入賞を達成しています。その基礎的な土壌を形成するうえで、丹嶺学苑研修センターが果たしてくださった貢献は計り知れず、感謝に堪えません。

本研究室において、3年生と4年生が合同で実施する「丹嶺ゼミ合宿」は、定番の人気行事です。年々参加者は増え、今では卒業生がゲスト講師となり後輩の指導を企画するほどになりました。ゼミ一同を代表し、設立40周年のお祝いに感謝を添えて、丹嶺学苑研修センターのさらなる発展をお祈り申し上げます。





## 感性を研ぎ澄ます場



武庫川女子大学附属高等学校  
教諭 山中寿美

丹嶺学苑研修センター40周年おめでとう  
ございます。

私の中の丹嶺学苑研修センターは、大  
学時代のダンス部での合宿で初めて訪ねた  
ときから『創作活動の場』として位置づけ  
られていました。そして、教諭となった今も、  
部活動の合宿でお世話になっていきます。こ  
の場をお借りして私が思う丹嶺学苑研修セ  
ンターの良さを紹介できたらと思います。

大自然に囲まれた環境にある丹嶺学苑研  
修センターは、創作意欲がかき立てられ、  
疲れを感じた時は外に出て太陽の光や新鮮  
な空気、そして蒼く茂った草木に触れるこ  
とで自然からのエネルギーを身体に蓄えて  
また没頭する時間に戻っていく…。創作活  
動は、終わりのない活動なので、いつの間  
にか自然のリズムで時間を知ることになり  
ます。気づけば、食事の時間。そんな風に  
して過ごす時間は、後々振り返ると至福の  
時として思い出されます。

今年度もコロナ禍でありながら、創作ダ  
ンス部の丹嶺合宿をさせていただきました。

食事の時  
間まで創  
作活動に  
没頭し、  
できたて  
熱々の食  
事をいた  
だくこと  
ができま



した。また、朝は鳥のさえずりを聴くこと  
ができ、夕方まで蛾の鳴き声で疲れた心と身  
体が癒やされました。今年度も大変思い出  
深い合宿となりました。



このように、大人にとっても子どもにとっ  
ても素晴らしい環境です。日々、情報  
があふれる中で暮らしている私たちにとっ  
て宇宙や自然のリズムを思い出させてくれ  
る場として、そして、五感を磨く場として  
もおすすめる場所です。これからも末永く  
部活動の合宿に使わせていただきたい施設  
です。個人的にこちらで大学時代の同窓  
会が開けたらと想像を膨らませています。  
私にとって丹嶺学苑研修センターは、感性  
を研ぎ澄ます場として大切な場所であるこ  
とは、言うまでもありません。

## 40周年記念事業

### 40周年記念植樹を行いました

2021年3月29日、ピンクの花を咲かせるヤマボウシを植樹しました。  
これは、大河原理事長より寄贈いただいたものです。  
四季折々の可憐な姿で、皆様をお迎えしてくれることでしょう。



### 等身大Lavyがやってきました

来苑された学生たちに大人気！  
12月に開催したイベントでは、クリスマス  
衣装に着替えて、学生と一緒に食事やビンゴ  
を楽しみました。  
来苑の際には、Lavy  
と記念撮影などをして、  
素敵な時を過ごしては  
いかがでしょうか。



### 学生対象イベント丹嶺でお泊まりXmasを開催しました！！

2021年12月11日～12日、感染症拡大の影響で研修に来れなかった学生の  
思い出づくりとして企画しました。



たき火と焼いも

## キャンパス MAP

- ①遊歩道                      ⑤テニスコート
- ②野外クッキング場        ⑥ディスクゴルフコース
- ③多目的広場                ⑦薬用植物園
- ④バレーボールコート      ⑧駐車場



## アクセス



## 編集後記

40周年記念特集号「結」はいかがでしたか？  
丹嶺学苑研修センターに勤務させていただき、早や30年以上。ここでは、これまでの勤務の中で印象に残っているエピソードをご紹介します。  
あれは25年ほど前のこと。指導員が宿直勤務中の夜、正門のチャイムが鳴りました。  
門の外には、原付バイクに乗ったふたりの男性。指導員が応対に出ると、「〇〇さん（彼女）に会いに来ました！堺市から3時間かけて来ました。お願いで

す！会わせてください!!」とのこと。指導員「ここまで原付で来たん？（驚）会わせてあげたいけど、それはできひんわ」「えー!!（涙）、じゃあ手紙だけでも渡してください」…彼らは3時間かけて帰って行きました。  
また、指導員が外で作業中、苑内に出没したイノシシに遭遇し、全力で逃げたこと。野外クッキング場の煙突に入り込んだフクロウを救出したことなど、エピソードは数え切れません。何かに会えるかもしれない丹嶺学苑研修センターに、ぜひお越しください。心よりお待ちしております。

研修指導課主任 加治由佳子



## 武庫川女子大学 北摂キャンパス 丹嶺学苑研修センター

〒651-1512 神戸市北区長尾町上津 4553-1  
TEL : 078-986-7381 / E-mail : tanrei@mukogawa-u.ac.jp

利用者の様子や苑内の様子を紹介しています。



Facebook



Instagram



ホームページ

施設の紹介や利用方法は  
ホームページに掲載しています。

2022 (R4) 3月発行